

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語特講 1	
科目基礎情報							
科目番号		0016		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		先端融合開発専攻		対象学年	専1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		e-learning 教材『TOEIC 学習システム』、『新TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー900』（講談社）、『いきなりスコアアップ! TOEIC(R) テスト600 点英文法集中講義』、その他担当教員が適宜配布するプリント					
担当教員		菅原 崇,北川 秀夫,Y専攻 教員					
到達目標							
①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができる。		コミュニケーションに必要な英文法の知識をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができない。	
		コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができる。		コミュニケーションに必要な語彙の知識をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができない。	
		コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができる。		コミュニケーションに必要なリーディング能力をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		TOEIC425 点以上獲得を目標に、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。					
授業の進め方・方法		授業はe-learning教材『TOEIC 学習システム』、TOEIC 模擬問題、単語テストで構成されている。また各自適宜予習復習が必要となる。 英語導入計画：Documents					
注意点		辞書、リスニングに必要なイヤフォン、未知の単語熟語などをメモするノート（および筆記用具）を毎回必ず持参すること。持参しない場合は居眠りやよそ事などと同様「履修の資格なし」とみなす。 授業中行ったTOEIC 模擬問題の確認や単語の修得を家庭学習として毎行い、次の授業に臨むこと。 学習・教育目標 A－1 10％ C－2 90％ JABEE 基準 1（1）：（a）（f）					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	TOEIC練習問題				
		3週	TOEIC練習問題解答ならび解説				
		4週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		5週	単語テスト（ALのレベルC）				
		6週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		7週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		8週	単語テスト（ALのレベルC）				
	2ndQ	9週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		10週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		11週	TOEIC学習システム（ALのレベルA）				
		12週	単語テスト（ALのレベルC）				
		13週	TOEIC練習問題				
		14週	TOEIC練習問題解答ならび解説				
		15週	期末試験解答解説				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		4	前2,前3,前4,前6,前7,前9,前10,前11,前13,前14,後2,後3,後6,後7,後10,後11
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		4	前2,前3,前4,前6,前7,前9,前10,前11,前13,前14,後2,後3,後6,後7,後10,後11

評価割合			
	期末試験	小テスト・課題	合計
総合評価割合	100	100	200
	100	100	200
	0	0	0